

【タイトル】金欠から 抜け出せる人・抜け出せない人

【概要】

お金の有るなしや、多い少ないは人と人との繋がりの結果であることが私自身の体験(一年以上続いた金欠状態)から分かりました。本企画は仏教の因縁果報という教えに、今までの自分の気持ちや生活を当てはめ、金欠から抜け出すには何をすべきかに気づくことができます。

本企画の三大要素は「心の在り方」「生活習慣」「人とのつながり=きずな」を著者の実体験をもとに読者に寄り添い、分かりやすい言葉で伝え、意識転換を図りながら読者を金欠苦から解放します。

家族との絆、神仏との絆、ご先祖様との絆、周りの人や取引先との絆。そして今、命ある事の奇跡。すべてが繋がっていることを再認識するところからスタートし、今までの体験はすべて自分に必要なことであり意味があることを強く認識してもらいます。また見方や受け止め方を変えることで事態が変わっていくこと。そして好転したその状態を継続するコツも一緒に伝えたいと思います。私自身まさに金欠状態の渦中の人間なのでまず私自身が本書に書かれていることを実践しながら執筆期間中に結果を出していきます。

この取り組みはとても斬新な取組みで、過去に金欠から抜け出した方の著書に比べ、大いに説得力に欠けますが、共感力は未知数であり無限大です。

本気で現在の苦しい金欠状態から抜け出したい人たちにとって本書が生きる希望に繋がりを、力になれば大変嬉しく思います。

今世一度きりの人生、その大切な限りある人生の時間をお金に振り回されて終えるのではなく、自分らしさや自分にとっての大事を見つけられる。そんな気づきの後押しができる本の誕生を皆さんと共有できますよう全力で作品作りに取り組んでまいります。

【想定する読者ターゲット】

- ① 30～50代の男女
- ② 主婦やパートさん。社員から経営者に至るまで金欠に悩んでいる人
- ③ 金欠から抜け出し自分らしい生き方をしたい人

【構成案】

第1章 なぜ今金欠なのか

- ・なぜ今金欠なのか
- ・金欠を正当化していないか
- ・金欠状態から目を背けない
- ・お金の入る器を造る
- ・お金の好かれる方法とは

第2章 お金との正しい付き合い方

- ・お金はエネルギー
- ・お金は人格を選ばない
- ・お金が面白いほど入ってくる方法
- ・一度清算することも必要

第3章 金欠を抜け出す生活実践

- ・朝の習慣を変える
- ・掃除が金運に与える力
- ・自分に話しかけ励ます
- ・シャワーを止め湯船につかる
- ・睡眠時間を確保する
- ・人から褒められる行動をする

第4章 金欠を抜け出すための秘策

- ・神社に行っても神さまに頼らない
- ・ありがとうの言葉の力を知る
- ・未来の成りたい自分を妄想する
- ・拾ったものを届ける
- ・ギャンブルを止める
- ・なるべくカードで決済をする
- ・金利の高いものから返済する

第5章 お金を貸す人・借りる人

- ・諸行無常 世の中は常に変化している
- ・お金を借りるときの心構え
- ・お金を貸す人にお願ひがあります

第6章 お金より大切なものに気づく

- ・お金以外で大切なものを書き出す
- ・人とのつながりや絆の大切さを思い出す
- ・今、この瞬間に感謝できるか
- ・夢を持つこと語ること
- ・人を応援する・人の成功を喜ぶ
- ・親孝行は万徳に値する

第7章 損して徳積み

- ・諸行無常 現状は必ず変化する
- ・損とお金の相関関係
- ・出入口の言葉の意味
- ・喜んで捨てる
- ・損して徳積み

【サンプル原稿】

金欠から抜け出せる人・抜け出せない人

第1章 なぜ今金欠なのか

□なぜ今金欠なのか

なぜあなたは今、金欠なのでしょう？

「給料が安いから」「今仕事をしていないから」「先月出費が多かったから」など色々な原因が思い浮かぶと思いますが、それはすべて違います。

お金の有る無しの一の要因は「人を喜ばしてきた量です」。

今あなたにお金が無ければ、それは人を喜ばしてきた量が減っているからです。

金欠には2種類あります。先月出費が多かったから今月は金欠という一次的な金欠と、給料が安いというような慢性的な金欠。本書では特に後者である慢性的な金欠の人を対象に金欠から抜け出す術をお伝えしていきます。

なぜ自分は欠なのか？と考えた時、結果＝表面だけを見てそこから抜け出す方法を考えるのが一般的です。

しかしそれではあくまでその場しのぎであって継続性は期待できません。結果毎月金策に追われ金欠からは抜け出せません。そうしているうちに精神的にしんどくなり、金策を考えるのもおっくうになります。

□金欠を正当化していないか

金欠に陥る人の多くは「給料が安いからだ」「税金が高いから」「社会が、政治が悪い」が口癖で自分以外の人や環境のせいになっています。ここで少しだけ冷静になって自分に質問してみてください。

□金欠から目を背けない

現代社会では、インターネットやSNSによって、かつてないほど多くの人とつながることが容易になりました。しかし、その反面、心が通い合う「本当のつながり」は希薄になっていると感じます。

ある心理学者の研究によれば、人が孤独を感じる原因の一つは「信頼の欠如」にあるともいわれています。私たちは、日々の忙しさや大量の情報の洪水の処理に追われる中で、相手をじっくりと理解し、信頼を築く時間を失ってしまっているのかもしれない。

金欠状態を抜け出すにはこの「信頼」が何より大事であることを知らなければなりません。確かにキャッシングローンなど人との繋がりが無くてもお金を手に入れることはできます。しかしキャッシングローンは限度額以上のお金を借りることはできません。もしあなたが限度額以上のお金が必要なら、人との信頼関係が最も重要であることを知るべきです。

□お金の入る器を造る

時にギャンブルや宝くじで大金を手にする人もいますが、そのようにお金を手にした人でお金持ちになったという話しはあまり聞きません。それより以前より金回りが悪くなり、金欠に逆戻りした話しは数多聞くことがあります。

折角金欠から抜け出せるほどのお金を手にしたのに、どうしてそうになってしまうのか？それは、お金を受け取る人の器の大きさがそのお金が入る器では無かったからです。

[以上となります。よろしく願いいたします]